



## PRESS INFORMATION



2014年8月19日

株式会社日本レースプロモーション

8月23日(土)～24日(日)

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第4戦

ツインリンクもてぎ大会選手権概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、8月23日(土)～24日(日)の2日間、栃木県 ツインリンクもてぎ ロードコース(1周:4.801km)で開催される「2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ第4戦ツインリンクもてぎ大会」の選手権概要を発表する。

土曜日に行われる予選はノックアウト方式で行われ、Q1、Q2、Q3と、計3回の予選が行われる。本大会のように19台エントリーの場合にはQ1(20分間)で15位から19位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3(7分間)を行い、1～8位までの決勝レーススタート位置を決定する。文字通りの好タイムが出なければ脱落することから、ノックアウト方式(勝ち抜き戦)と呼ばれる。

日曜日に行われる決勝レースは、1周:4.801kmのレーシングコースを52周し、計249.652kmで争われる。このツインリンクもてぎ ロードコースは、コースレイアウトの特性上ブレーキへの負荷が非常に高くなり、安全上の観点から負荷軽減を図るために、大型フロントブレーキダクトの装着が可能となり、燃料流量を減らしている。またレース中の給油、タイヤ交換のためのピットインの義務は無いが、夏の強い日差しで路面温度の上昇が予想され、タイヤの使い方がとても重要になるとともに、戦略的なレース展開が予想される。

2014シリーズこれまでの3大会4レースは、開幕戦でロイック・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)がアンドレ・ロツテラー(ペトロナス・チーム・トムス)に逆転で優勝。第2戦は2レース制で行われ、レース1では予選PPからジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(レノボ チーム インパル)が優勝。レース2では開幕戦でロイック・デュバルに優勝をさらわれたアンドレ・ロツテラーがポール・ツー・ウィンの快勝。第3戦では終盤突然の豪雨に見舞われる中、クレバーなタイヤ選択が功を奏した中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)が見事な逆転優勝を飾った。シリーズポイント争いは中嶋一貴が2位以下に頭一つ抜けだしているものの、今年の3大会4レースの優勝者はすべて異なり、シリーズランキング上位8名は僅差で競り合っている。

この4名の優勝者の他は、第3戦で念願の2位表彰台を獲得した平川亮(キグナス スノコ チーム ルマン)や、同じく第3戦で3位表彰台の国本雄資(プロミュー/セルモ・インギング)、開幕戦で2位表彰台のジェームス・ロシター(コンドレーシング)、徐々に調子を上げているディフェンディング・チャンピオンの山本尚貴(チーム無限)などが注目される。

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**BRIDGESTONE**

Promotion Partner

**HITACHI J SPORTS**

**SKY Perfect JSAT Corporation**

**人 NINKI-ICHI 人気酒造**

## エントリーリスト 1/3

NO.	ドライバー		エンタラント名		車両名
	生年月日	国籍 (出身地)	監督名		(エンジン)
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988. 7. 11 日本 (栃木県)	TEAM 無限 (チーム無限) 手塚 長孝		TEAM 無限 SF14  (Honda HR-414E)
	中山 友貴 Yuhki Nakayama				
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983. 8. 25 イギリス	KONDO RACING (コンドーレーシング) 近藤 真彦		フジ・コーポレーション KONDO SF14 (TOYOTA R14A)
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994. 3. 7 日本 (広島県)	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン) 土沼 広芳		ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
	ロイック・デュバル Loic Duval				1982. 6. 12 フランス
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986. 11. 20 日本 (栃木県)	HP REAL RACING (エイチピー リアル レーシング) 金石 勝智		HP SF14
	ヴィンタントニオ・リウッツィ Vintantonio Liuzzi				1981. 8. 6 イタリア
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991. 7. 25 日本 (東京都)	KCMG (ケーシー エム ジー) 土居 隆二		KCMG Elyse SF14  (TOYOTA R14A)

## エントリーリスト 2/3

NO.	ドライバー 誕生日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira 1981. 7. 13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル) 星野 一義	Lenovo TEAM IMPUL SF14  (TOYOTA R14A)
20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン Kumar Ram Narain Karthikeyan 1977. 1. 14 インド		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima 1989. 1. 29 日本(愛知県)	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング) 中嶋 悟	NAKAJIMA RACING SF14  (Honda HR-414E)
32	小暮 卓史 Takashi Kogure 1980. 8. 1 日本(群馬県)		
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer 1981. 11. 19 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM' S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀	PETRONAS TOM' S SF14  (TOYOTA R14A)
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985. 1. 11 日本(愛知県)		
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura 1981. 4. 23 日本(東京都)	P.MU/CERUMO/INGING SF14 (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路	P.MU/CERUMO/INGING SF14  (TOYOTA R14A)
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990. 9. 12 日本(神奈川県)		

## エントリーリスト 3/3

NO.	ドライバー 誕生日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri 1989. 9. 15 日本 (茨城県)	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライアン レーシング) 村岡 潔	DOCOMO DANDELION M40T SF14 (Honda HR-414E)
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh 1982. 10. 6 日本 (東京都)		DOCOMO DANDELION M41Y SF14 (Honda HR-414E)
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga 1983. 4. 25 日本 (愛知県)	TOCHIGI Le Beausset Motorsports (とちぎ・ル・ボーセ モータースポーツ) 坪松 唯夫	DENSO Le Beausset SF14 (TOYOTA R14A)

## 2014年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P. P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

\* P. P. : ポールポジション (予選1位) には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

\*最終戦(第7戦)鈴鹿大会に限り、レース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

\*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

—ご参考—

### 1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レース。一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。

### 2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより、賞金とシリーズ ドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与される。

### 3. レース車両（SF14）

シャシーはダラーラ・オートモービル社（イタリア）製でタイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは排気量2リッター、直列4気筒直噴ターボ過給エンジンでHonda HR-414EまたはTOYOTA R14Aを使用する。

### 4. オーバーテイクシステム（OTS）

燃料リストラクターシステム（燃料流量規制システム）を活用し、約20秒間燃料供給量を上げて約5%エンジン性能をアップさせ、オーバーテイクを補助するシステム。ステアリングにあるボタンで操作し、本大会では決勝レース中5回まで使用できる。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ（リーダーズレッド）を装着している。OTSはスーパーフォーミュラ独特の仕組み。

## 2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 12~13	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5/ 17~18	第2戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	2レース制
7/ 12~13	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
<b>8/ 23~24</b>	<b>第4戦/ツインリンクもてぎ</b>	<b>ノックアウト</b>	<b>250 km</b>
9/ 13~14	第5戦/オートポリス	ノックアウト	220 km
9/ 27~28	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
11/ 8~ 9	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

—開催概要—

- 大会名称 : 2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 第4戦ツインリンクもてぎ
- 併催レース : 2014 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第5戦  
2014年全日本フォーミュラ3選手権 第10戦・第11戦  
FIM アジアカップ国別対抗ロードレース  
2014 N-ONE OWNER'S CUP 第4戦
- 開催日 : 2014年8月23日(土)~8月24日(日)  
決勝スタート : 8月24日(日) 15:00~
- 開催地 : ツインリンクもてぎ ロードコース(栃木県)  
(決勝レース距離 : 4.801km/1周 x 52周 = トータル249.652km)
- 主催 : 株式会社モビリティランド  
エムオースポーツクラブ(M. O. S. C.)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)  
国際モーターサイクリズム連盟(FIM)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援 : 文部科学省 / 観光庁 / 茂木町  
東京中日スポーツ / RADIO BERRY / FM NACK5

【チケット情報】

- 観戦券 : 前売り大人 ¥4,000(予選・決勝2日間有効)  
\*中学生以下は保護者同伴に限り入場無料です。  
\*詳細はもてぎチケット販売(<https://mls.mobilityland.co.jp/onlineshop/Default.aspx>)をご参照ください。

【TV放映予定】

{お願い} 放送日、放送時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

- 「J SPORTS 1」 : 全戦決勝レースをライブ中継。また決勝レースのリポート放送やレースダイジェスト番組も放送。
  - ・8月23日(土) 13:00~15:00 全日本選手権スーパーフォーミュラ第4戦 予選(生中継)
  - ・8月24日(日) 14:30~18:30 全日本選手権スーパーフォーミュラ第4戦 決勝(生中継)

\*リポート放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(<http://www.superformula.net/>)またはJ SPORTSホームページ([http://www.jsports.co.jp/program\\_guide/month/japanese/c\\_month14.html](http://www.jsports.co.jp/program_guide/month/japanese/c_month14.html))にてご確認ください。

●「BSフジ」：大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特集を放送。

- ・8月30日（土）16：00～16：55（本放送）
- ・9月 5日（金）24：00～24：55（再放送）

●フジテレビ ONE/TWO/NEXT

- ・8月29日（金）23：30～0：00 第4戦・ツインリンクもてぎハイライト(NEXT)
- \*放送日、放送時間はスーパーフォーミュラオフィシャルウェブ([http://www.fujitv.co.jp/otn/b\\_hp/914200066.html](http://www.fujitv.co.jp/otn/b_hp/914200066.html))  
でご確認ください。

●YAHOO!GyaO!

- \*大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド (<http://gyao.yahoo.co.jp/>) で放送。

\*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)

102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail : [media@superformula.net](mailto:media@superformula.net)

Tel:03-3237-0131 Fax : 03-3237-0135

広報担当：遠藤清人 携帯電話：090-3401-8112

e-mail : [media@jrp-inc.net](mailto:media@jrp-inc.net)

Japanese Championship  
**SUPER FORMULA**  
 Series Ranking 2014

第3戦終了時点

ドライバーズ・ポイントランキング

Po.	No.	Driver	Points	Gap	4/13	5/18	7/13	8/24	9/14	9/28	11/9
					SUZUKA Rd.1	FUJI Rd.2-1	FUJI Rd.2-2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6
1	37	中嶋一貴	20		3	4	3	10			
2	36	A.ロツテラー	16.5	-3.5	5	2.5	6	3			
3	8	L.デュバル	15.5	-4.5	10	3	2.5	—			
4	7	平川亮	13.5	-6.5	5	0	0.5	8			
5	19	J.P.デ・オリベイラ	12	-8	2	6	4	0			
6	38	石浦宏明	11	-9	6	0	0	5			
7	3	J.ロシター	10.5	-9.5	8	1.5	0	1			
8	39	国本雄資	9	-11	0	2	1	6			
9	1	山本尚貴	6	-14	0	0	2	4			
10	20	N.カーティケヤン	4.5	-15.5	0	1	1.5	2			
11	11	V.リウツツィ	1.5	-18.5	1	0.5	0	0			
12	8	A.カルダレッツィ	1	-19	—	—	—	1			
13	31	中嶋大祐	0	-20	0	0	0	0			
14	18	中山雄一	0	-20	0	0	0	0			
15	41	武藤英紀	0	-20	0	0	0	0			
16	40	野尻智紀	0	-20	0	0	0	0			
17	2	中山友貴	0	-20	0	0	0	0			
18	62	嵯峨宏紀	0	-20	0	0	0	0			
19	32	小暮卓史	0	-20	0	0	0	0			
20	10	塚越広大	0	-20	0	0	0	0			

※太字は優勝、下線はP.P.

チーム・ポイントランキング

Po.	No.	Team	Points	Gap	4/13	5/18	7/13	8/24	9/14	9/28	11/9
					SUZUKA Rd.1	FUJI Rd.2-1	FUJI Rd.2-2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6
1	36,37	PETRONAS TEAM TOM'S	34.5		7	6.5	8	13			
2	7,8	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	29	-5.5	15	3	3	8			
3	38,39	P.MU/CERUMO-INGING	20	-14.5	6	2	1	11			
4	19,20	Lenovo TEAM IMPUL	15.5	-19	2	6	5.5	2			
5	3	KONDO RACING	10.5	-24	8	1.5	0	1			
6	1,2	TEAM 無限	6	-28.5	0	0	2	4			
7	10,11	HP REAL RACING	1.5	-33	1	0.5	0	0			
8	31,32	NAKAJIMA RACING	0	-34.5	0	0	0	0			
9	18	KCMG	0	-34.5	0	0	0	0			
10	40,41	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	0	-34.5	0	0	0	0			
11	62	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	0	-34.5	0	0	0	0			

※太字は優勝、P.P.ポイントはドライバーズのみ

■選手権ポイント

	Rd.	順位							
		1	2	3	4	5	6	7	8
予選	1-7	1							
	1,3-6	10	8	6	5	4	3	2	1
レース	2,7	5	0	0	0	0	0	0	0
	7	3							

☆ドライバーズポイント

第7戦鈴鹿に限り、第1・第2レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

☆チームポイント

各チームに所属するドライバーの獲得ポイントを合計。2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分を合計。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

※複数のドライバーまたはチームが同ポイントの場合、1大会の